

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公表番号】特表2015-506922(P2015-506922A)

【公表日】平成27年3月5日(2015.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-015

【出願番号】特願2014-547635(P2014-547635)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/23 (2006.01)

A 6 1 K 9/107 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 P 27/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/231 (2006.01)

A 6 1 K 31/232 (2006.01)

C 0 7 C 67/14 (2006.01)

C 0 7 C 69/24 (2006.01)

C 0 7 C 69/58 (2006.01)

C 0 7 C 69/587 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/23

A 6 1 K 9/107

A 6 1 K 9/127

A 6 1 P 27/04

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/36

A 6 1 P 27/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/231

A 6 1 K 31/232

C 0 7 C 67/14

C 0 7 C 69/24

C 0 7 C 69/58

C 0 7 C 69/587

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年12月18日(2015.12.18)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

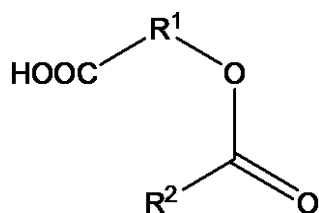
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

1. 式(I)の化合物であって、

【化1】



(I)

式中、

R^1 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルケニルであり、

R^2 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む、眼科用製剤。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

3. R^2 が、直鎖もしくは分岐鎖の C_{17} アルキルまたは1つまたは2つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の C_{17} アルケニルである、項目1または2に記載の眼科用製剤。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

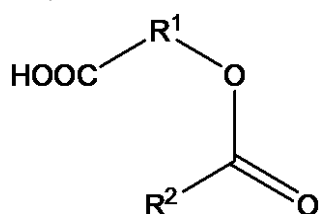
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

本発明は、式(I)の化合物であって、

【化18】



(I)

式中、

R^1 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルケニルであり、

R^2 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む、眼科用製剤を提供する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

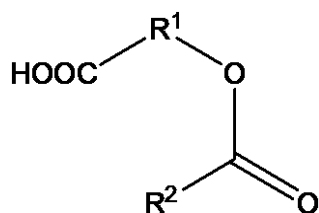
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

本発明の眼科用製剤は、式(I)の化合物であって、

【化19】



(I)

式中、

R^1 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルケニルであり、

R^2 が、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{19}$ アルケニルである、化合物と、

眼科学的に許容される担体と、を含む。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0042

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0042】

一部の実施形態において、 R^1 は、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルカンジイルであり、つまり、9から33個の炭素を含む直鎖もしくは分岐鎖の飽和炭化水素基である。一部の実施形態において、 R^1 は、直鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルカンジイルである。一部の実施形態において、 R^1 は、1から4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルケンジイルであり、つまり、9から33個の炭素を含む直鎖もしくは分岐鎖の炭化水素基であり、1つ、2つ、3つ、または4つの二重結合を有し、三重結合を有さない。一部の実施形態において、 R^1 は、1から4つの二重結合を有する直鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{33}$ アルケンジイルである。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0043

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0043】

一部の実施形態において、 R^1 は、直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{17}$ アルキルまたは1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $\text{C}_9 - \text{C}_{17}$ アルケニルである。例えば、一部の実施形態において、 R^1 は、直鎖もしくは分岐鎖の C_9 、 C_{10} 、 C_{11} 、 C_{12} 、 C_{13} 、 C_{14} 、 C_{15} 、 C_{16} 、もしくは C_{17} アルキル、または1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の C_9 、 C_{10} 、 C_{11} 、 C_{12} 、 C_{13} 、 C_{14} 、 C_{15} 、 C_{16} 、もしくは C_{17} アルケニルである。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

本発明の一実施形態において、 R^2 は、直鎖もしくは分岐鎖の $C_{16} - C_{19}$ アルキルまたは1つ、2つ、3つ、または4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $C_{16} - C_{19}$ アルケニルである。例えば、一部の実施形態において、 R^2 は、直鎖もしくは分岐鎖の C_{16} 、 C_{17} 、 C_{18} 、もしくは C_{19} アルキル、または1つ、2つ、または3つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の C_{16} 、 C_{17} 、 C_{18} 、もしくは C_{19} アルケニルである。

【誤訳訂正8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0046

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0046】

本発明の一実施形態において、 R^2 は、直鎖もしくは分岐鎖の C_{17} アルキルまたは1つまたは2つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の C_{17} アルケニルである。

【誤訳訂正9】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0087

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0087】

出発物質に関する上の式において、 R^a は、直鎖もしくは分岐鎖の $C_9 - C_{33}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $C_9 - C_{33}$ アルケニルであり、 R^b は、直鎖もしくは分岐鎖の $C_9 - C_{19}$ アルキルまたは1つから4つの二重結合を有する直鎖もしくは分岐鎖の $C_9 - C_{19}$ アルケニルである。出発物質化合物は、室温で一晩（約12時間）、好適な有機溶媒（例えば、クロロホルム、テトラヒドロフラン、またはジクロロメタン）中で、モル比約1：1で混合される。